

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 健人堂キッズクラブ | | 公表日 | | 令和7年 3月 31日 | |
|---------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 1 | | ・個々で対応が必要な児童に対しての空間を確保できるように、工夫していく必要がある。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 1 | | ・基準定員は満たしているが、支援するにあたって、人数が足りないと感じることがある。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 0 | ・スロープもあり、段差がほとんどないようなつくりになっている。 ・車椅子でも入りやすいトイレになっている。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 2 | | ・場所は確保出来ているが、上手く活用できていないように感じる。 ・個別で対応できる場所を増やす等、工夫・改善していきたい。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 3 | 2 | ・その日の朝に、話し合う時間を設け、話し合うようにしている。 | ・見立て、振り返りをしながら、一人一人に合わせた支援の検討を図っていく。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | | ・保護者から頂いた意見を参考にし、可能な限り業務改善に繋げていきたい。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 3 | 2 | | ・感染症の感染拡大が続き、難しい時があるが、できる限り研修の参加を行っていきたい。 | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 3 | 2 | | ・アセスメントが不十分なところも見られる為、再度、保護者のニーズ等確認していく。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 3 | 2 | ・責任者が作成した原案を元に、支援に関わる職員と、検討するようにしている。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 1 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 3 | 2 | ・チームで検討している。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | 1 | ・振り返りを行い、活動内容を見直すようにしている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | 1 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 2 | ・その日の夕方に振り返りをし、今後の支援について話し合うようにしている。 | ・送迎業務もあり、全員での振り返りが難しい時がある。支援開始前に振り返りの時間を設け、情報共有していきたい。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | 0 | ・記録の徹底は出来ているが、検証・改善は十分と言えない。 | ・今後も保護者様に毎月、確認してもらい、今後の支援の検証や改善に努めていきたい。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 3 | 2 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 0 | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 2 | | ・直接的な連絡体制はなく、間接的に診断書等を用いている。連絡体制が取れるよう努めていきたい。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 5 | 0 | ・気になったことは、やり取りを行うようにし、送迎時等で、学校の様子を伺うようにしている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 2 | 3 | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | 2 | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 2 | 3 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 4 | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 3 | | 参加出来ないことが多い。参加ができるよう、日程調節を行っている。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 2 | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | 0 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5 | 0 | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 0 | | |

| | | | | | | |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1 | 4 | | ・保護者やきょうだいで交流する機会のあるが、上手く活用できていない。準備等が不十分なところもある為、今後も検討し、改善していきたい。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | 0 | ・すぐに対応できるよう、心掛けている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 3 | 2 | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 0 | | ・今後も十分に配慮していきたい。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | 0 | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 3 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 2 | マニュアルを作成し、整備している。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 3 | 2 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 5 | 0 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 1 | | ・対象者はいないが、対応できるようにしていきたい。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 1 | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 2 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | 0 | ・報告書を残すようにしている。 | ・報告書を元に、原案の内容及び、解決策の共有を図っている。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 3 | 2 | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | 0 | ・対象者はいないが、すぐに対処できるように、説明するようにしている。 | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|-----|-------------------|
| ○事業所名 | 健人堂キッズクラブ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7 年 1 月 10 日 | | ～ 令和 7 年 2 月 28 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 43名 | (回答者数) 15名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7 年 1 月 10 日 | | ～ 令和 7 年 2 月 28 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 3 月 31日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | ・小学生から高校生までの、幅広い年齢の児童との関わりがもてている。 ・年上の児童が年下の児童の面倒を見たりする事で、年上としての自覚が芽生え、また、慕われることによって、自信を持ちます。年下の児童は優しく扱ってもらえる事で、自分より年下の児童に思いやりの気持ちを持って接することができるようになります。自分がお手本になることを自覚する為、良い行いをしようとし、年下の児童は模倣する事で、向上心が芽生えていくことが期待されます。 | ・年齢に関係なく友達になることで、活動の幅がひろがる。 ・異年齢での遊びの楽しさや一緒に体験する事で、相乗効果が生み出される。 | ・安全面や児童の負担を配慮しながら、相乗効果を活かして、様々なスキルが身に付けられるような活動を提供していきたい。 |
| 2 | ・職員間の関係性が良く、チーム連携ができています。 | ・個々の強みを生かし、役割分担をして、業務に取り組んでいる。 ・日々のミーティングを活かして、共通理解ができるように努めている。 | ・より良い支援ができるように、報連相を徹底していきたい。 |
| 3 | ・日中一時支援がある。 | ・保護者様のレスパイトや就労支援として、保護者様の負担を軽減する事が出来る。 | ・今後も、児童が楽しく遊んだり、安全で落ち着いて過ごせる環境を提供していきたい。 ・一時的なお預かりだが、何か一つは学んでいってもらえるように活動内容を工夫していきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | ・中高生への支援が不十分を感じる。 | ・部活動等、日々の生活が多忙になり、平日の利用時間が確保しにくい。 ・PCスキルなど専門的な知識を教えらる職員がいない。 | ・中高生に必要な知識等を教えることができるよう、専門的な研修にも参加し、就労や進学に向けた活動を積極的に取り入れていきたい。 |
| 2 | ・保護者様への活動内容等の周知と交流の場がもてていない。 | ・支援内容の周知・交流の場を設けることで、連携が取れやすくなり、より寄り添った支援が行えると考えている。 | ・年間行事の配布を行う。 ・保護者参加型の行事を増やしていき、事業所のことを知ってもらう事で、円滑な連携を図っていく。 |
| 3 | ・研修の機会が少ない。 | ・研修に参加したい気持ちはあるが、日々の業務に追われ、研修を受ける機会が少ないように感じている。 | ・職員の質の向上のため、今後は日程調節を行いながら、積極的に参加していきたい。 |